

証券コード：5907

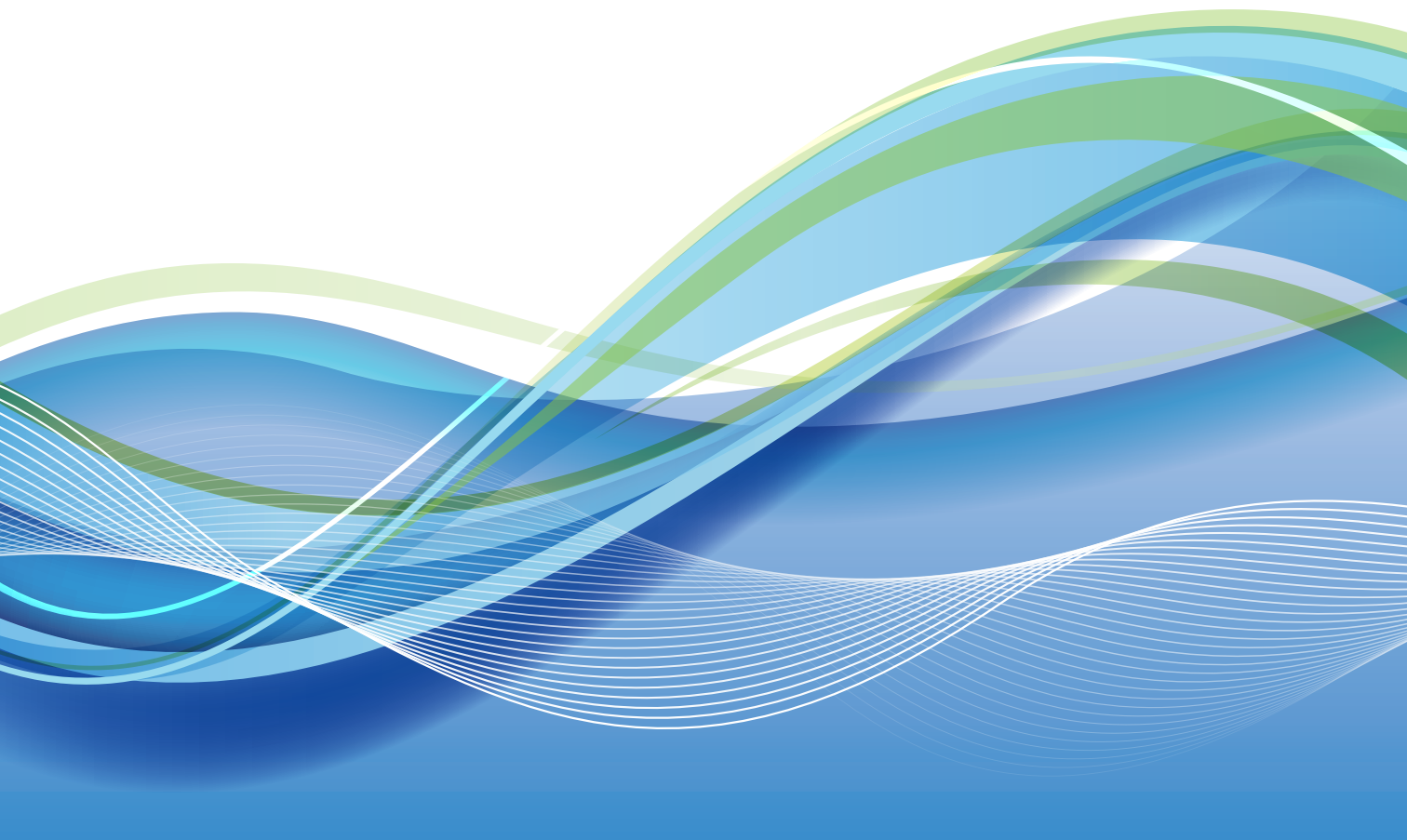


JFE コンテイナー 株式会社

第58期

株 主 通 信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



株主の皆様へ

● ご挨拶

株主の皆様には日頃より格別のご支援を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第58期（2019年3月期）株主通信をご高覧いただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善したことに伴い、設備投資や個人消費が底堅く推移しました。しかし、年度後半は輸出に陰りが見られ、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、先行き不透明な状況となっております。

このような需要環境の下、全国200リットル新缶ドラムの当期の販売実績につきましては、前期比0.9%減の1,400万缶となりました。需要分野別では、石油分野向けが前期比13.3%増と大幅に増加した一

方、最大分野である化学分野向けが同3.0%減となりました。

当社グループの連結業績につきましては、売上高305億46百万円（前期比0.7%減）、営業利益23億24百万円（同11.6%減）、経常利益24億53百万円（同9.9%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は17億18百万円（同12.0%減）となりました。

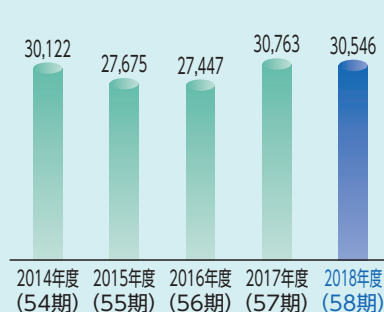
当期の期末配当につきましては1株当たり62.5円の配当とさせていただきますこととなりました。当期は中間配当金62.5円をお支払いしておりますので、1株当たりの年間配当金は125円となります。

当社は、第6次中期経営計画（2018～2020年度）において持続的な成長基盤、安定的な収益基盤を確

● 決算ハイライト（連結）

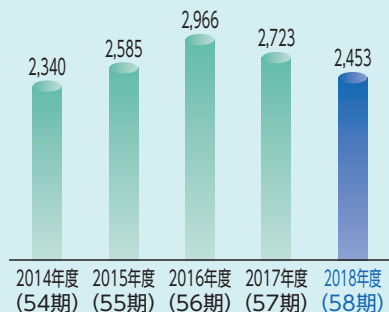
売上高

（単位：百万円）



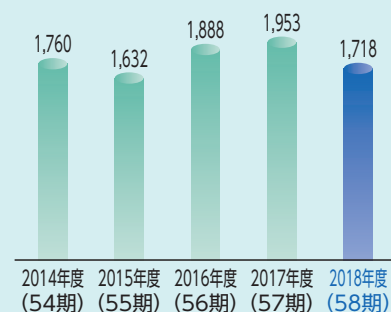
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する 当期純利益

（単位：百万円）



立するため、人と技術、設備に経営資源を集中投入することとしてまいりました。その中期経営計画の初年度となる2018年度においては、中期計画で設定した当該年度の目標に対し、ドラム缶販売数量は目標に及びませんでした。他の項目（売上高、経常利益、設備投資・修繕費、研究開発費）は目標レベルを達成し、順調に推移しております。

2019年度においてはドラム缶販売数量10,000千缶達成を目指してまいります。

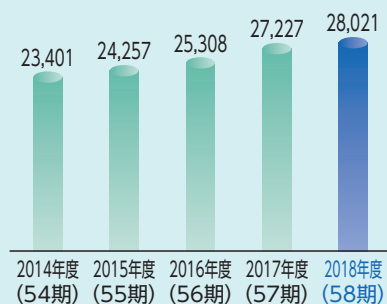
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 那 須 七 信

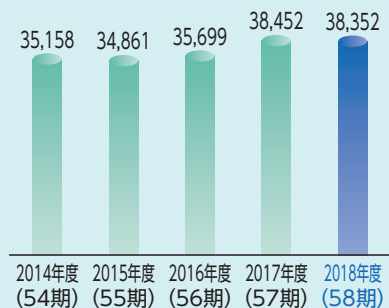
純資産

(単位：百万円)



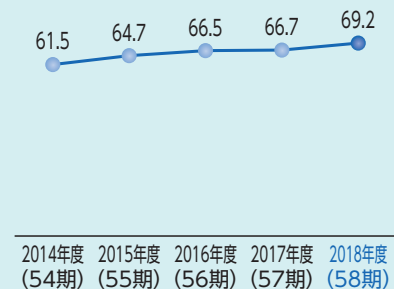
総資産

(単位：百万円)



自己資本比率

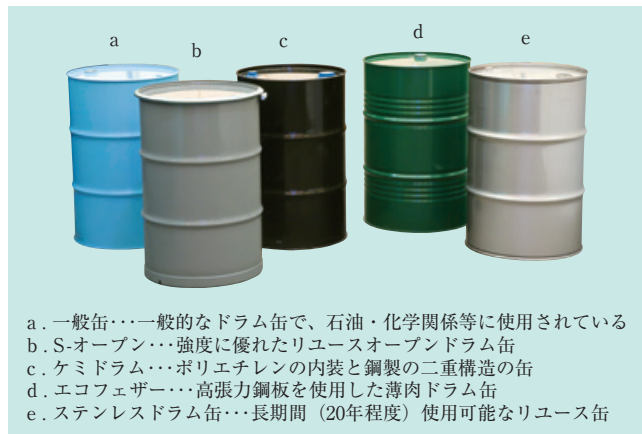
(単位：%)



事業別の概況

ドラム缶事業

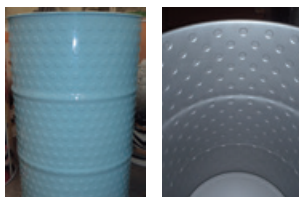
当期の当社グループ（日本および中国）のドラム缶販売数量は、976万缶（前期比0.5%減）となり、売上高は303億2百万円（同0.5%減）、経常利益は25億57百万円（同8.5%減）となりました。売上高は日本および中国でのドラム缶販売価格の値上げを行ったものの、出荷減の他、元安による為替差で中国の売上高が減少した影響もあり減収となりました。収益面では販売価格の値上げが鋼材の実勢ベース価格に届いておらず、人件費や副資材・エネルギーコスト・運送費の上昇分の価格反映も道半ばとなっており、減益の決算となりました。一方で今後の持続的成長に向け、当社グループは第6次中期経営計画（2018～2020年度）の主要課題である競争力強化・成長基盤整備のための投資も進めており、安定生産のための計画的大規模修繕、研究開発、人材育成や働き方改革に経営資源を集中させております。



- a. 一般缶…一般的なドラム缶で、石油・化学関係等に使用されている
- b. S-オープン…強度に優れたりユースオープンドラム缶
- c. ケミドラム…ポリエチレンの内装と鋼製の二重構造の缶
- d. エコフェザー…高張力鋼板を使用した薄肉ドラム缶
- e. ステンレスドラム缶…長期間（20年程度）使用可能なりユース缶

レリーフドラム缶

胴に浮き彫り模様を加工した缶で、胴のパネル強度が向上します。



目立つ外観で、一目で判別できます。内面は、外面と凹凸が逆になります。

高意匠プリント缶

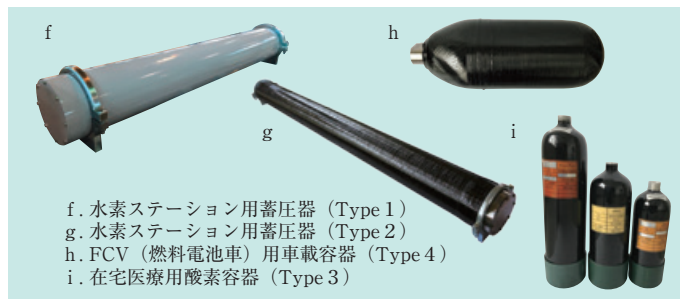
あらかじめプリントした鋼板を使用することで、従来にない个性的かつ美しい外観のドラム缶を実現しました。



お客様のアイデア次第で圧倒的な存在感を演出します。

高圧ガス容器事業

当期の業績は、売上高は2億43百万円（前期比17.5%減）、経常損益は1億44百万円の損失（前期は1億31百万円の損失）となりました。医療用酸素容器は国内での高齢化と在宅医療の拡大を受けフル生産基調が続いております。2018年度の水素ステーション建設基数は昨年度より少ないものの、Type2蓄圧器の開発は完了、早期の市場投入を図ってまいります。



- f. 水素ステーション用蓄圧器（Type 1）
- g. 水素ステーション用蓄圧器（Type 2）
- h. FCV（燃料電池車）用車載容器（Type 4）
- i. 在宅医療用酸素容器（Type 3）

トピックス

「FC EXPO 2019 ～第15回【国際】水素・燃料電池展～」に出展しました

FC EXPOは、水素・燃料電池の研究開発・製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置および燃料電池システムが一堂に出展する国際商談展です。2019年2月27日（水）から3月1日（金）まで東京ビッグサイトにて開催され、約370社が出展し、6万人以上が来場しました。

【主な出展商品】

- ・『燃料電池自動車向け水素ステーション用93MPa対応Type2複合容器蓄圧器』
- ・『燃料電池フォークリフト向け水素ステーション用45MPa対応Type1蓄圧器』
- ・『次世代型Type2高性能複合蓄圧器』

今回は更に、FCドローン搭載用Type3蓄圧器、燃料電池自動車向け車載用Type4蓄圧器のコンセプトの紹介を行い、来たる水素社会での安全や安心に貢献するJFEグループの高い技術力を訴求しました。



展示ブース

論文発表会の開催 ～日中70人が参加しました～

当社は2018年12月7日（金）に第38回論文発表会を開催いたしました。

論文発表会は1981年よりスタートし今回で38回目となる歴史ある社内発表会です。技術力の向上、優秀な取り組みの情報共有化、論文作成を通じた人材育成などを開催目的としています。技術テーマだけでなく営業・事務部門からも発表を行い、中国ドラム事業・高圧ガス容器事業・JFE協和容器も含めた「オールJFEコンテナグループ」が参加し、活発な討議が行われました。



小野社長（当時）と発表者との討議風景



活発な討議風景

連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第58期 2019年3月31日現在	第57期 2018年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	21,179,057	20,523,485
固定資産	17,173,597	17,928,952
有形固定資産	14,120,231	14,839,141
無形固定資産	451,641	511,745
投資その他の資産	2,601,723	2,578,065
資産合計	38,352,655	38,452,438
(負債の部)		
流動負債	8,768,424	9,636,840
固定負債	1,563,045	1,588,544
負債合計	10,331,470	11,225,384
(純資産の部)		
株主資本	26,021,316	24,697,164
資本金	2,365,000	2,365,000
資本剰余金	4,649,875	4,649,875
利益剰余金	19,017,724	17,693,244
自己株式	△11,282	△10,954
その他の包括利益累計額	525,888	959,870
その他有価証券評価差額金	208,643	271,136
為替換算調整勘定	341,388	727,002
退職給付に係る調整累計額	△24,143	△38,268
非支配株主持分	1,473,980	1,570,018
純資産合計	28,021,185	27,227,053
負債純資産合計	38,352,655	38,452,438

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第58期 2018年4月 1 日から 2019年3月31日まで	第57期 2017年4月 1 日から 2018年3月31日まで
売上高	30,546,013	30,763,515
売上原価	23,611,529	23,494,235
売上総利益	6,934,484	7,269,280
販売費及び一般管理費	4,610,268	4,638,757
営業利益	2,324,215	2,630,522
営業外収益	286,510	284,283
営業外費用	157,187	190,855
経常利益	2,453,538	2,723,950
特別利益	10,715	77,855
特別損失	12,089	29,818
税金等調整前当期純利益	2,452,164	2,771,987
法人税等	712,182	840,993
当期純利益	1,739,982	1,930,993
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	21,769	△22,105
親会社株主に帰属する当期純利益	1,718,212	1,953,099

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第58期 2018年4月 1 日から 2019年3月31日まで	第57期 2017年4月 1 日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,417,193	1,762,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△895,143	△899,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	△892,254	82,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62,075	13,538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	567,720	958,688
現金及び現金同等物の期首残高	5,419,262	4,460,574
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,728	－
現金及び現金同等物の期末残高	5,980,254	5,419,262

連結株主資本等変動計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	2,365,000	4,649,875	17,693,244	△10,954	24,697,164	271,136	727,002	△38,268	959,870	1,570,018	27,227,053
当期変動額											
剰余金の配当			△393,732		△393,732						△393,732
親会社株主に帰属する当期純利益			1,718,212		1,718,212						1,718,212
自己株式の取得				△328	△328						△328
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△62,493	△385,614	14,125	△433,982	△96,038	△530,020
当期変動額合計	－	－	1,324,480	△328	1,324,151	△62,493	△385,614	14,125	△433,982	△96,038	794,131
当期末残高	2,365,000	4,649,875	19,017,724	△11,282	26,021,316	208,643	341,388	△24,143	525,888	1,473,980	28,021,185

会社情報・株式情報

会社所在地	〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町1丁目5番15号
電話番号	03-5281-8511（代）
設立年月	1961年4月
資本金	2,365,000,000円
従業員数	264名
発行済株式数	2,867,500株
決算日	3月31日
株式上市市場	東京証券取引所 市場第二部
業務内容	ドラム缶、高圧ガス容器の製造・販売

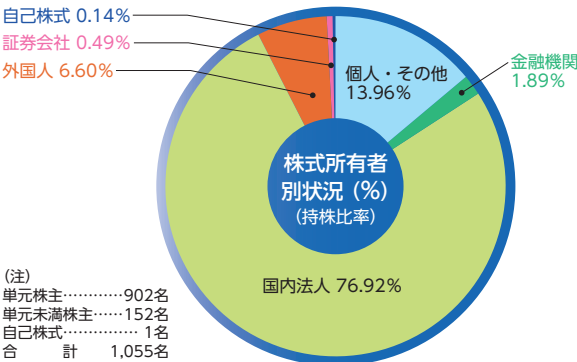
取締役および監査役（2019年6月20日現在）

代表取締役社長	那 須 七 信
専 務 取 締 役	大 崎 恭 紀
常 務 取 締 役	岡 部 隆
取 締 役	吉 田 直 人
取 締 役	木 原 幹 人
取 締 役	三 浦 浩 行
取 締 役	村 上 伸 二
取 締 役（社外）	平 田 善 久
監 査 役（常勤）	今 井 賢 一 郎
監 査 役（社外）	宮 城 順 一
監 査 役	原 守 良
監 査 役（社外）	高 橋 俊 彦

株式の状況（2019年3月31日現在）

発行可能株式総数	5,600,000株
発行済株式の総数	2,867,500株
株主数	1,055名

株主構成



大株主

株主名	所有株式数 (千株)	出資比率 (%)
JFEスチール株式会社	1,548	54.07
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	321	11.24
JFE商事株式会社	153	5.36
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	128	4.50
京極運輸商事株式会社	63	2.22
JFEコンテナー社員持株会	40	1.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	26	0.92
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION - CLIENT ACCOUNT	22	0.78
山口 淳一	20	0.71
日新容器株式会社	17	0.62

(注) 持株比率は、自己株式（4,069株）を控除して計算しております。

事業所一覧

- 本社／〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町1丁目5番15号 猿楽町SSビル
TEL.03-5281-8511 (代) FAX.03-5281-1225
- 大阪支社／〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目25番13号 KS大阪江戸堀ビル
TEL.06-6225-1670 (代) FAX.06-6225-1675
- 千葉工場／〒260-0826 千葉市中央区新浜町1番地
TEL.043-261-3381 (代) FAX.043-264-8239
- 川崎工場／〒210-0862 川崎市川崎区浮島町9番2号
TEL.044-266-3251 (代) FAX.044-276-1410
- 堺工場／〒590-0977 堺市堺区大浜西町9番1号
TEL.072-238-4231 (代) FAX.072-222-0870
- 水島工場／〒712-8073 倉敷市水島西通1丁目1955番地
TEL.086-448-3737 (代) FAX.086-448-2615
- 高圧ガス容器工場／〒210-0862 川崎市川崎区浮島町9番2号
TEL.044-266-3254 (代) FAX.044-276-1757

株主メモ

- | | |
|-----------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月に開催 |
| 定時株主総会および
期末配当の基準日 | 3月31日 |
| 中間配当基準日 | 9月30日 |
| 臨時基準日 | 必要ある場合にあらかじめ公告のうえ設定 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先
(電話照会先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) |
| 取次事務 | 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。 |

<住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について>

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

<未払配当金の支払について>

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告の方法

電子公告 (当社ホームページに掲載)
[アドレス] <http://www.jfecon.jp>
※事故その他やむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載して行います。

「株券の保管振替制度」
関係手続きのご照会先

お取引先の証券会社

ホームページのご案内



<http://www.jfecon.jp/>



JFE コンテイナー 株式会社